

news release

先進的な医療保険「マニューメッド」を新発売

- ◆ 多様な医療保障ニーズに柔軟・自在・合理的に対応
- ◆ 医療専用ボーナスも導入（日本初）

マニューライフ生命保険株式会社は、このほど先進的な新医療保険「マニューメッド」を開発、7月10日より全国で発売開始します。

「マニューメッド」は“自分や家族に本当に必要な医療保障だけを選びたい”、“保険料は必要な保障分に見合った合理的なものにしたい”、“加入後も、必要に応じて随時保障を追加したり内容変更したい”といった消費者の強い要望に対応して、マニューライフ生命がユニバーサル型保険の豊富なノウハウと実績をもとに開発した新しいタイプの医療保険です。多様で変化する個人・家庭の医療保障ニーズに柔軟・自在に対応でき、合理的な保険料設定となっているのが大きな特長です。

「マニューメッド」は、多様で変化する医療保障ニーズにきめ細かく柔軟に対応できます

多彩な特約ラインアップ

“入院を前提としない通院”や“ホスピスケア等のための生前給付”といった先進的な保障内容により充実したがん保障に加え、成人病、女性疾病、けが等を保障する特約を用意。疾病からけが、がんまで幅広く対応する、全18種類の多彩な医療特約のラインアップとしました。

1入院あたりの保障日数（日型）を多様化

1入院で保障される日数（日型）も30日型から1000日型まで5種類設定。入院保障ニーズの多様化に合わせて、短期入院から、成人病や特定疾病に手厚く備えたいという長期入院ニーズまで幅広く対応できます。また、がんの支払日数は無制限としました。

きめ細かい入院保障設計が可能

入院保障日数180日型の場合、35日を境に給付日額金額を入院前期あるいは後期重点にしたり通期でフラットにするなど、さらにきめ細かく自在に入院保障を設計できます。

家族全員をカバー可能

ひとつの保険で、ご家族全員(*)についてそれぞれご希望の保障内容で自在に加入できます。

(*=同居または生計を一にする3親等範囲内のご家族全員が対象)

「マニューメッド」の保険料は合理的です

解約返戻金をゼロに設定

医療特約の解約返戻金をゼロとしていますので、割安な保険料設定が可能になりました。

医療専用ボーナスの導入（日本初）

日本で初めて医療関係特約専用のボーナスバリューを導入しました。しかも、ご家族全員の特約保険料がボーナスに反映されます。

定期・終身の選択が可能

全ての入院保障特約、がん保障特約について定期保障・終身保障を選択できるようにしました。終身保障を選択すれば、更新時の保険料アップなしで生涯の保障を得られます。

必要な保障だけに保険料を支払う合理性

豊富な選択肢から必要な保障だけを自在に選べますので、合理的な保険料となります。

「マニユメッド」はオーダーメイドプランも便利なパッケージプランのいずれもできます

自分専用の保障をオーダーメイド

「マニユメッド」は、弊社の営業職員（PA：プランライト・アドバイザー）代理店がお客様を訪問し販売します。お客様とともにニーズと保障内容を吟味し、最新の設計システムを駆使して最適な提案をさせていただきオーダーメイドの販売を行います。

ユニークな3種類のパッケージを用意

今回これに加えて、より簡単に最適な保障プランをご選択いただけるように、入念な市場調査に基づいて開発した、「入院35プラン」「入院185プラン」「がん重点プラン」のユニークな3種類のパッケージを用意しました。「入院35プラン」「入院185プラン」は、基本パッケージに目的別の多彩なオプションを任意に付加することで簡便に最適な“自分専用の医療保険”を設計できます。「がん重点プラン」にはニーズの強いがん保障をすべてワンパッケージにまとめました。

「マニユメッド」は、貯蓄機能も備えています

「マニユメッド」は、充実した医療保障に加え、市中金利に月ベースで感応する貯蓄（自由に設定できるファンド）機能も備えています。目的に応じて積み立てたり、積立金を活用した保険料や支払期間の調整、保障内容充実等が可能です。余裕のある時に一時金の投入もできます。保障内容等に応じて付与されるボーナスバリューもファンドに積み増しされます。この貯蓄機能をフルに活用することで、ユニバーサル型のマニユメッドの先進性はさらに発揮されます。

マニユライフ生命の商品開発担当の常務執行役員兼シニアバイスプレジデントのキース・ウォルターは今回の「マニユメッド」発売開始にあたって次のように述べています。

「マニユライフが海外で長い経験の中で培ってきたユニバーサル型の保険の商品開発のノウハウは、私どもの最大の強みのひとつです。この強みを最大限活用し、真に現代の日本のお客さまの利便に合う医療保険として、マニユメッドを開発しました。自在性、多様性、合理性いずれをとっても、最高水準の医療保険をご提供できたと考えています。マニユメッドが、今後の医療保険市場をリードする商品になると確信しています。」

自由にえらべる、今と未来の処方せん



マニユライフ生命はカナダに本拠を置くマニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています（2003年5月現在）。マニユライフ・ファイナンシャルは、100年以上の歴史を誇り、カナダを本拠とし、世界15カ国・地域で事業展開している金融サービスのリーディンググループです。同社職員、エージェンツ及び販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2003年3月31日現在1,416億カナダドル（約11兆3,760億円）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社はトロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所、フィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。

なお、マニユライフ生命のホームページは以下の通りです。（www.manulife.co.jp）

(別紙参考資料 - 1)

「マニユメッド」の主な特長

1. 多様な保障ニーズに対応する多彩で高機能な医療特約ラインアップ

1. 新開発のがん関係特約、特定損傷特約、Cタイプ入院特約(*)を加え、全部で18種類の医療関係特約をラインアップ。疾病・災害入院や災害通院、さらにはがんまで、多様な医療保障ニーズに対応。(*=コンビネーションタイプの入院特約)
2. 先進的機能を持つ新開発のがん関係特約。(別注1)
 - 「ガン入院特約」= 支払日数無制限で1日目から支払い。(別注2)
 - 「ガン診断給付特約」= 複数回支払いに対応し、上皮内がんも支払い対象。(別注3)
 - 「ガン通院特約」= **がん入院を前提にしない**支払い。
 - 「ターミナルケア特約」= **ホスピスケア**等の支援費用の生前給付に対応。(別注4)
3. Cタイプ特約により、入院前期重点タイプ、入院後期重点タイプ、フラットタイプなど、さらにきめ細かく自在に日額を設定できます。
4. 入院給付金の日型(*)を30日型、120日型、180日型(30日型+Cタイプ)、360日型、1000日型の5種類に多様化。短期から長期入院ニーズまで自在に対応。(*=1入院で保障される日数)
5. ひとつの保険で、ご家族全員(*)についてそれぞれご希望の保障内容で自在に加入できます。(*=同居または生計を一にする3親等範囲内のご家族全員が対象)

2. 合理的な保険料設定、日本初の医療専用ボーナスも導入

1. 医療特約の解約返戻金をゼロとし、保険料を低廉化。
2. 付加された医療特約の保険料額に応じた医療専用ボーナスバリューを日本で初めて導入。しかも、ご家族分の特約保険料もボーナスバリューに反映されます。
3. 全ての入院保障特約、がん保障特約の保険期間について定期と終身の選択が可能。終身なら更新による保険料アップなしに生涯の保障に対応。
4. ニーズに応じて自在に保障を選択できますので、保険料も必要な分だけ。合理的な保険料となります。

3. オーダーメイドプランに加えて、3種類のパッケージプランを用意。

1. 「入院35プラン」低廉な保険料と合理的な保障を実現。
入院日額は3種。(5千円、7千円、1万円)を設定。
2. 「入院185プラン」長期入院にも対応できる充実した医療保障。
入院日額は3種。(5千円、7千円、1万円)を設定。
3. 「がん重点プラン」軽度のがん、入院をとまなわれない通院も保障。入院給付金の支払日数は1日目から無制限。
入院日額は3種。(1万円、2万円、3万円)を設定。

4. 貯蓄機能と、保障内容・保険料見直しの自在性

1. 貯蓄機能を持つファンドの積立金を利用して保険料の減額や払込みの停止ができます。
2. 加入後、いつでも保障の中途付加ができます。
3. 加入後、いつでも貯蓄と医療保障の割合を変更できます。

(別注1) がんサポートは告知日もしくは第一回保険料充当金領収日のいずれか遅い日より90日を経過した日の翌日(ガン責任開始日)以後に診断告知されたガンについて保障します。ガン責任開始日前にガンと診断確定されていた場合には給付金・保険金はお支払いしません。

(別注2) ガン以外の原因で入院し、入院中にガンと診断確定されたときは診断確定日以降の入院についてお支払いします。

(別注3) 直前のガン診断給付金のお支払いから2年以内はガン診断給付金はお支払いしません。

(別注4) ガンで余命6ヶ月と診断されたとき生前給付します。

(別紙参考資料 - 2)

■ 3種類のパッケージ

◆ 「入院35プラン」(保険期間/払込期間:終身/終身払)

合理的な保障により、極力保険料を押さえたいという若年男性独身層を想定。また、若・中年女性層を想定し、この基本プランに、オプションの成人病サポート、女性疾病サポートの選択により、成人病や女性特有の病気などの長期入院への対応を低れんな保険料で実現できます。また、お客さまのニーズにより、3段階の入院日額設定(5千円、7千円、1万円)から選択できます。

基本パッケージ

- ・ 手術給付金付疾病入院特約(30日型)
- ・ 災害入院特約(30日型)
- ・ 入院初期給付特約

選択可能な目的別のオプション

- ・ 成人病サポート = Cタイプ成人病特約(35日目から150日分の保障)
- ・ 女性疾病サポート = Cタイプ女性疾病入院特約(35日目から150日分の保障)
- ・ がんサポート = 手術給付金付ガン入院特約・ガン診断給付特約・ガン通院特約・ガン死亡保障特約・ターミナルケア特約
- ・ けがサポート = 特定損傷特約・災害通院特約
- ・ 退院・通院サポート = 退院特約・通院特約

加入年齢

4歳から75歳

ご契約例

「入院35プラン」

基本ニーズ: がんや糖尿病などの成人病は気になるが、保険料の支出をおさえたい。

入院35プラン + 成人病サポート(150日)

保険料例 保険期間: 終身、日額: 7,000円 単位: 円

年齢	20歳	30歳	40歳	50歳
男性	2,337	3,129	4,553	6,850
女性	2,412	3,007	3,842	5,314

◆ 「入院185プラン」(保険期間:終身/終身払、定期10年)

保障内容と保険料のバランスを考えたい若中年家族層、定期タイプにより保険料を押さえながら充実した保障を求めたい若年独身女性層、がん・医療の終身タイプやけがなど多彩な保障が欲しい中高年層を主に想定。1入院185日型と長期の入院にも対応しながら、保険料を低く押さえました。入院35プランと同様、お客さまのニーズにより、3段階の日額設定(5千円、7千円、1万円)から選択できます。

基本パッケージ

- ・ 手術給付金付疾病入院特約(30日型)
- ・ 災害入院特約(30日型)
- ・ 入院初期給付特約(5日型)
- ・ Cタイプ入院特約(35日目から150日分の保障)

選択可能な目的別のオプション

- ・ 成人病サポート = 成人病特約(30日型) + Cタイプ成人病特約(35日目から150日分の保障)
- ・ 女性疾病サポート = 女性疾病入院特約(30日型) + Cタイプ女性疾病入院特約(35日目から150日分の保障)
- ・ がんサポート = 手術給付金付ガン入院特約・ガン診断給付特約・ガン通院特約・ガン死亡保障特約・ターミナルケア特約

- けがサポート = 特定損傷特約・災害通院特約
- 退院・通院サポート = 退院特約・通院特約

加入年齢

4 歳から 75 歳

ご契約例

「入院 185 プラン」

基本ニーズ：長期の入院で高額な医療費が心配。

入院 185 プラン（基本パッケージ） + がんサポート（入院支払日数無制限）

保険料例 保険期間：終身、日額：7,000 円 単位：円

年齢	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳
男性	4,487	6,247	9,220	13,751
女性	4,447	5,945	8,196	11,709

保険料例 保険期間：10 年、日額：7,000 円 単位：円

年齢	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳
男性	2,028	2,773	4,563	8,219
女性	2,280	3,217	4,290	6,540

◆ 「がん重点プラン」(保険期間：終身/終身払)

がんによる入院費負担および所得の減少に対する準備がしたい中高年男性層、女性特有のがんに対する保障を充実したい中高年女性層を主に想定。ニーズの高いがん関連の保障をワンパッケージにまとめました。軽度のがん（上皮内がん）も含め、すべてのがんが対象になります。支払日数無制限で入院 1 日目から支払いの「手術給付金付ガン入院特約」、複数回支払いに対応し上皮内がんも支払い対象とする「ガン診断給付特約」、がん入院を支払いの前提にしない「ガン通院特約」、余命 6 ヶ月と診断されたときのホスピスケア等の支援費用の生前給付に対応する「ターミナルケア特約」と、先進的機能を備えた特約をラインアップしました。他の 2 プランと同様、3 種の日額設定（1 万円、2 万円、3 万円）から選択できます。

- 手術給付金付ガン入院特約
- ガン診断給付特約
- ガン通院特約
- ガン死亡保障特約
- ターミナルケア特約

加入年齢

4 歳から 75 歳

ご契約例

「がん重点プラン」

基本ニーズ：がんの医療保障を充実させたい。

保険料例 保険期間：終身、日額：10,000 円 単位：円

年齢	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳
男性	2,951	4,542	6,767	9,508
女性	2,971	4,497	6,520	8,824

「マニユメッド」新特約の一覧(支払事由、支払額)

特約名	保険金/給付金	支払事由	支払額
入院初期給付特約(生存給付保険用)(03)	入院初期給付金	2日以上継続して入院したとき	入院給付金日額の5倍
手術給付金付疾病入院特約 (生存給付保険用)(03)	疾病入院給付金	病気で5日以上継続して入院したとき	入院給付金日額×(入院日数-4)
	手術給付金	病気または災害で所定の手術をしたとき	手術1回につき入院給付日額の40倍、20倍、10倍
災害入院特約(生存給付保険用)(03)	災害入院給付金	災害で180日以内に入院し、5日以上継続して入院したとき	入院給付金日額×(入院日数-4)
成人病特約(生存給付保険用)(03)	成人病入院給付金	成人病で5日以上継続して入院したとき	成人病入院給付金日額×(入院日数-4)
女性疾病入院特約(生存給付保険用)(03)	女性疾病入院給付金	女性特定疾病で5日以上継続して入院したとき	女性疾病入院給付金日額×(入院日数-4)
Cタイプ入院特約(生存給付保険用)(03)	Cタイプ入院給付金	病気または災害で35日以上継続して入院したとき	Cタイプ入院給付金日額×(入院日数-34)
Cタイプ成人病特約 (生存給付保険用)(03)	Cタイプ成人病入院給付金	成人病で35日以上継続して入院したとき	Cタイプ成人病入院給付金日額×(入院日数-34)
Cタイプ女性疾病入院特約 (生存給付保険用)(03)	Cタイプ女性疾病入院給付金	女性特定疾病で35日以上継続して入院したとき	Cタイプ女性疾病入院給付金日額×(入院日数-34)
通院特約(生存給付保険用)(03)	通院給付金	疾病・災害入院給付金の支払事由に該当する入院をし、退院日の翌日から120日以内に治療を目的とした通院をしたとき	通院給付金日額×通院日数
退院特約(生存給付保険用)(03)	基本退院給付金	5日以上継続入院後生存して退院したとき	災害入院給付金日額の5倍
	割増退院給付金	30日以上継続入院後生存して退院したとき	災害入院給付金日額の5倍
特定疾病保障特約(生存給付保険用)(03)	特定疾病保障保険金	ガン・急性心筋梗塞・脳卒中に該当したとき	特約保険金額
災害通院特約(生存給付保険用)(03)	災害通院給付金	災害で180日以内に通院したとき	災害通院給付金日額×通院日数
特定損傷特約(生存給付保険用)(03)	特定損傷給付金	災害で180日以内に、骨折、関節脱臼または腱の断裂の治療をしたとき	特定損傷給付金額
手術給付金付ガン入院特約 (生存給付保険用)(03)	ガン入院給付金	責任開始期から90日経過後、ガンで入院したとき	ガン入院給付金日額×入院日数
	ガン手術給付金	責任開始期から90日経過後、ガンで所定の手術をしたとき	手術1回につきガン入院給付金日額の40倍、20倍、10倍
ガン診断給付特約(生存給付保険用)(03)	ガン診断給付金	責任開始期から90日経過後、ガンと診断確定されたとき	ガン診断給付金額(上皮内ガンのときは、ガン診断給付金額の50%)
ガン通院特約(生存給付保険用)(03)	ガン通院給付金	責任開始期から90日経過後、ガンにより通院したとき	ガン通院給付金日額×通院日数
ガン死亡保障特約(生存給付保険用)(03)	ガン死亡(高度障害)保険金	責任開始期から90日経過後、ガンにより死亡または高度障害に該当したとき	特約保険金額
ターミナルケア特約(生存給付保険用)(03)	ターミナルケア保険金	責任開始期から90日経過後、ガンにより余命6ヶ月と診断されたとき	ガン死亡保険金の全部または一部

「マニユメッド」新特約の一覧(支払日数限度、保険期間等)

特約名	1入院/通院支払日数限度	通算支払日(回)数限度	保険期間	解約返 戻金 “ゼロ”
入院初期給付特約(生存給付保険用)(03)	-	50回	1年～40年、終身	
手術給付金付疾病入院特約(生存給付保険用)(03)	30日・120日・360日・1,000日	1,000日		
災害入院特約(生存給付保険用)(03)				
成人病特約(生存給付保険用)(03)				
女性疾病入院特約(生存給付保険用)(03)				
Cタイプ入院特約(生存給付保険用)(03)	150日			
Cタイプ成人病特約(生存給付保険用)(03)				
Cタイプ女性疾病入院特約(生存給付保険用)(03)				
通院特約(生存給付保険用)(03)	30日			
退院特約(生存給付保険用)(03)	-			200回
特定疾病保障特約(生存給付保険用)(03)	-		-	1年～40年
災害通院特約(生存給付保険用)(03)	90日	1,000日	1年～20年	
特定損傷特約(生存給付保険用)(03)	-	10回	1年～20年	

手術給付金付ガン入院特約(生存給付保険用)(03)	無制限	無制限	1年～40年、終身	
ガン診断給付特約(生存給付保険用)(03)	-	2年経過後複数支払		
ガン通院特約(生存給付保険用)(03)	30日	120日		
ガン死亡保障特約(生存給付保険用)(03)	-	-		
ターミナルケア特約(生存給付保険用)(03)				

リスク情報について

市場金利によって損失が生じることがあります

主契約の無配当利率感応型 10 年ごと(連生)生存給付保険を「フレックスファンド」といいます。「フレックスファンド」の積立金は市場金利に応じた運用資産の価格変動が解約返戻金に反映されるため、市場金利の変動により解約返戻金が「フレックスファンド」に充当された既払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

この商品の費用について

「フレックスファンド」の積立金は、予定利率から災害死亡保障に備えるための費用として0.003%および保険契約の維持に必要な費用として予定利率に応じて0.85%～1.15%を差し引いた率を用いて計算します。

主契約を解約される場合、解約手数料がかかることがあります。解約手数料は、この保険の資産の平均利回りなどにより計算され、解約計算基準日(その請求書類が会社の本社に到着した日)の積立金の額につきの解約手数料率を乗じて得られる金額です。

$$\text{解約手数料率} = \left(\begin{array}{l} \text{解約計算基準日} \\ \text{から次の10年ご} \\ \text{との年単位の契} \\ \text{約応当日までの} \\ \text{残存期間} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{解約計算基準日の属す} \\ \text{る月の前月の予定利率} \\ \text{計算基準日における残} \\ \text{存期間に応じた国債の} \\ \text{利回り} \\ \text{スポットレート} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{その予定利率計} \\ \text{算基準日におけ} \\ \text{るこの保険の資} \\ \text{産の平均利回り} \end{array} \right)$$

解約手数料率がマイナス値になる場合は、解約手数料を0(ゼロ)とします。この解約手数料は、「フレックスファンド」積立金の引き出し(一部解約)の際にも同様にかかります。